

2025年2月26日

エバーブルーテクノロジーズ株式会社

北海道エアポート株式会社

スズキ株式会社

新千歳空港にて、「除雪ドローン[®] V3」による自動除雪 の実証実験を実施

－雪国の未来を切り拓く、無人除雪機の実用化に向けた取り組み－

エバーブルーテクノロジーズ株式会社（本社：東京都調布市、代表取締役：野間 恒毅、以下「エバーブルーテクノロジーズ」）、北海道エアポート株式会社（本社：北海道千歳市、代表取締役社長：蒲生 猛、以下「北海道エアポート」）、およびスズキ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：鈴木 俊宏、以下「スズキ」）は、本日、新千歳空港において自動除雪の実証実験を共同で実施しました。



<写真：新千歳空港での除雪実証テストの様子>

日本の冬の空港運営において、除雪作業は必要不可欠ですが、近年は労働力不足や作業負担の増大が課題となっています。さらに、気候変動の影響で降雪パターンが変化し、より効率的な除雪手法が求められています。こういった課題を解決するため、スズキの「電動モビリティベースユニット」を活用したエバーブルーテクノロジーズの無人除雪機「除雪ドローン[®]V3」により、電動駆動による環境負荷の低減と、遠隔操作・自動運転機能による省人化を目指します。

本実証実験では、無人除雪機「除雪ドローン® V3」を活用し、新千歳空港の空港内の一部区域を対象に自動除雪を行いました。除雪作業の効率化および安全性向上を目的とし、降雪地帯空港運営における持続可能なソリューションの可能性を検証します。

主な検証項目

1. **除雪性能の評価** : 実際の降雪環境における無人除雪機の作業効率
2. **運用の安全性** : 空港内の厳しい運用基準への適合性
3. **省人化・省コスト化** : 従来の除雪作業と比較した労働負担・コストの軽減効果
4. **環境負荷の低減** : 電動駆動によるCO₂排出削減効果

本実証実験の結果をもとに、無人除雪機「除雪ドローン®」の実用化に向けた改良および追加開発を進め、北海道内の各空港への展開を検討してまいります。

【エバーブルーテクノロジーズ「除雪ドローン®V3」について】

エバーブルーテクノロジーズが開発する「除雪ドローン®」シリーズは、北海道などの豪雪地帯で深刻化する「除雪」の負担を軽減することを目的とし、遠隔除雪と自動除雪で日々の除雪作業の負担を軽減しています。今回使用する「V3 プロトタイプ」は、2023年よりスズキの電動モビリティベースユニットを使ったモデルとして自動運転機能とあわせて開発中のものです。

プロダクト概要: <https://www.everblue.tech/products/snow-removal-drone-v>

【スズキ「電動モビリティベースユニット」について】

電動モビリティベースユニットは、多様なロボットの足回りとしての活用を目指し開発中の電動ユニットです。スズキが長年電動車いすの開発で培ってきた走破性や安定性といった移動の技術をロボット業界に提供します。パートナーが自律走行やAIなど様々な技術を組み合わせることで、ロボットによる物流や除雪、土木建設、計測・監視など様々な分野の課題解決をパートナーとともに目指しています。